

会議等報告用紙

会議名	「令和元年度亀岡市まちづくり協働推進委員会」(第1回)
日時	令和元年6月7日(金)午後1時30分～3時30分
場所	亀岡市役所302・303会議室
出席者	委員：松井副委員長、中井委員、楠委員、石田委員、深尾委員、吉川委員、阿久津委員、井内委員、田中委員、田部委員、森委員、松尾委員 欠席：坂本委員長 事務局(福田課長、樋口係長、中川、谷口)
内容	1. 開会 2. 委員自己紹介 3. 協議 ・平成31年度(令和元年度)亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業について ・第3次亀岡市まちづくり推進実施計画の策定に向けて 4. その他 ・令和元年度亀岡市まちづくり協働推進委員会(第2回)の開催について 5. 閉会
報告	3. 協議 ●平成31年度(令和元年度)亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業について ①申請事業全体について ・(団体が)労働対価としての人件費がきちんと払える体制づくりに努めないと若い人が参加しにくい。 ・最後は広く亀岡全体の利益になるような活動をしてもらいたい(恩恵を受けるのが特定の層に限られる傾向) ⇒最後は成果物の提出を求めているかどうか(例えば、他町でも実行できるように、ノウハウを書いた冊子等印刷物など)。 ・もっと、新規事業を生み出すような周知をするべきではないか。 ②市民連携事業について ・連携先との日常における親密度合いを気にするべきではないか。日頃付き合いのある団体同士が連携するのではなく、新たな関係を築くことで化学反応が起こることを期待すべきでは。 ③各申請事業について 別紙「平成31年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業に係る会議要旨」 ●第3次亀岡市まちづくり推進実施計画の策定に向けて (計画のうち重点項目(案)の提示) 重点項目1 目指すべき「かめおかの像」の共有について ・(総合計画の目標を引用していることについて)市の計画＝協働の像というのはよくないのではないか。「かめおかの像」に対する活発な議論をしてその共有を図ることで、一人一人が考え続けることが大切。集大成として多面性を持った像ができる。 重点項目2 活動開始初期の支援から補助制度後の活動展開の支援まで ・支援金の申請を受けるにあたって、申請団体とのやり取りが少ない。どのような内容まで詰める

か、専門で相談にのる人が必要。

重点項目 3 コミュニティ活動に向けた主体間の理解と繋がり創出

・「かめおかの像」が設定できてから話し合う。

重点項目 4 地域課題解決に向けた中間支援機能の強化と普及

・団体のレベルアップが必要で、そのためにはサポートが欠かせない。運営について、日ごろから相談に乗ることが一番重要であるが、現状十分でない。

重点項目 5 協働推進体制の検証と強化

4. その他

令和元年度亀岡市まちづくり協働推進委員会（第2回）

令和元年8月29日（木）午後1時30分から